

ケカモノハシ*Ischaemum antheboroides*
(Steud.) Miq.イネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 II
環境庁 掲載なし**選定理由** 県内の生育地は海岸砂地に限られ、しばしば群生する。海岸の埋立てや植林などにより、生育地の減少や消滅が懸念される。**県内分布** 周防灘海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域**分布域** 北海道 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国**生育環境** 海岸の砂地。**現 状** 海岸の埋立てや砂浜の改変などによって、消滅した生育地が多い。**カモノハシ***Ischaemum aristatum* L.
var. *glaucum* (Honda) T. Koyamaイネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 II
環境庁 掲載なし**選定理由** 沿海地に分布するが、県内での生育地は少ない。海岸の改修や湿地の埋立てなどで、生育地の減少や消滅が懸念される。**県内分布** 中津・宇佐低地，姫島・国東海岸，別府湾沿岸域，豊後水道域**分布域** 本州 四国 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島 中国(東北部)**生育環境** 沿海地の湿地。**現 状** 海岸の開発，改修や湿地の埋立て，植生遷移による環境変化で，消滅した生育地がある。**ヒロハノサヤヌカグサ***Leersia sayanuka* Ohwi
var. *latifolia* (Honda) Ohwiイネ科
Gramineae**カテゴリー**大分県 情報不足
環境庁 掲載なし**選定理由****県内分布** (耶馬溪地区)，(英彦山・犬ヶ岳山地)**分布域** 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)**生育環境****現 状** 上記地域の文献記録はあるが、いずれの生育地も把握されていない。
文献 [大井次三郎：植垂植物資料 16 植物分類地理 7 (1938)]